

中国人の日本語はどこに間違いが起きやすいか—日本語学習者の手紙から検討する

富田仁美

1.はじめに

ここに一通の手紙がある。これは私が1年生の頃、中国の大学の日本語学科に所属する中国人学生からもらった手紙だ。昨年末、「中国の日本語学習者が犯しやすい日本語の誤用」というテーマで卒業論文を執筆するにあたって、机の引き出しの中で何年も眠っていたこの手紙を、資料として活用しようと思って改めて読み直す機会があった。明らかに文法上の誤用だと思われる箇所や、文法上はまったく問題はないのだが何となく違和感を覚える箇所に一つ一つチェックを入れていくと、おびただしい数になった。

本稿では、この手紙文の中で遭遇した誤用の中で特に気になったものをいくつか挙げ、これを書いた学生がどのような思考によってこのような誤用に行き着いたか分析する。そして中国人の日本語はどこに間違いが起きやすいかを検討したいと思う。

2.「ひさしぶり、手紙を書かないですね」

これが、この手紙文の冒頭だ。これはパッと見ただけで、ああ、これは“好久没写信了”という意味のことが言いたいのだなと推測できる。これは結論から言うと、中国語の“好久”を日本語の「久しぶり」に転移させたために生じた誤用である。“好久”も「久しぶり」も『久』という共通の漢字が使われるので混同しやすいのだろうが、両者は文法的に性質がまったく異なる。「久しぶり」は、「あなたに手紙を書くのは久しぶりですね」のように述語として使われる形容動詞なのだ。後ろに「に」を加えて「久しぶりにあなたに手紙を書きます」としない限り、副詞にはなりえない。

また、中国語の“好久”は必ず“好久{没/不}～了”と否定形で使われる。日本語では「久しぶりに会いましたね」と言えるが、中国語では“好久見了”とは言えない。逆に中国語で“好久不見了”とは言えるが、日本語では「久しぶりに会いませんでしたね」とは言えないのである。この手紙を書いた人は、“好久”と「久しぶり」のこういった文法上の性質の違いを把握していなかったため、「久しぶり」を否定形とつなげて「ひさしぶり、手紙を書かないですね」としてしまった。この人が“好久”の意味を「久しぶり」ではなく「ながいあいだ～しない」と覚えていたら、この誤用は生じなかったはずだ。

もう一つ、「手紙を書かないですね」という部分にも問題がある。“好久没写信了”を日本語に訳すなら「しばらく手紙を書きませんでした」とか「しばらく手紙を書いていません」とするのが正しい。「(私は)手紙を書かないですね」は、「私は普段手紙というものを書かない」という意味に感じられる。「長いこと手紙を書かなかった」を中国語に訳すと、“我很久时间没写信”となる。ところが“好久”は特殊で、“好久没写信了”でも“好久不写信了”でも「長いこと手紙を書かなかった」という意味で通用してしまう。そのために彼女

は“好久不写信了”をそのまま日本語に転移させ、「手紙を書かないですね」としてしまったのではないだろうか。

3. 「あなたの中国語はもう上手になります。あなたはうれしいでしょう」

この手紙をくれた学生とは、お互いの外国語の力を高める目的で、私が中国語で手紙を書き、彼女が日本語を使って文通していた。私が以前送った中国語の手紙を読んで、「私と中国語で文通すれば、もうすぐ上手になりますよ。うれしいでしょう？」という意味のことが言いたいのだと思われる。

どうして「もうすぐ上手になります」を「もう上手になります」としてしまったのだろうか。日本語で「もう」は変化の結果（例：あなたはもう中学生なのだから、自分でやりなさい）、行為の完結（例：あのおもちゃなら、もう捨ててしまったよ）を示す。「もうすぐ」は、変化の結果や行為の完結が近い未来に迫っていることを表す。このふたつは「もう」という共通の音を持つので混同したのだろうか。中国語で「もう」は“已经～了”、“もうすぐ”は“快～了”と違う副詞で表されるが、“快～了”の意味で「もう」を使うこともある。例えば“我快二十岁了”には、「私はもう 20 歳だ」という意味も「私はもうすぐ 20 歳だ」という意味も含まれる。とすると、この手紙の「もう上手になります」は、「もう」の“快～了”のほうの意味で使ったのかもしれない。

吉田妙子は、中国人による「もう」の誤用について次のように述べている¹。日本語の「もう」は事態の完了、開始、中止など、ある状態から別の状態への変化を示す動作性の述語を修飾する。それに対して中国語の“已经”は、必ず“了”をともなって“已经～了”の形で使われ、事態が起こってある程度経ってから発話され、事件の結果や状態が発話時に至るまで続いていることを示すという。中国人は、中国語の“已经”を転移させることによって日本語の「もう」を理解するので、“已经”のつもりで「もう」を使って不自然な日本語にしてしまうことがあるという。「私はもう大学院に合格しました」のように、合格が確実に予定されていたような「傲慢」な印象を与えるものや、「私の母はもう亡くなりました」のように、それを予定し期待していたようなニュアンスのある日本語を作ってしまう。これは、「もう」には「予定していた出来事」について「もう～した」という意味が含まれているからだという。とすれば、「もう寝る」がよいのに「もう上手になる」はどうしてだめなのかが説明できる。「寝る」は毎日のルーティンだが「上手になる」にはそうした意味がない。また「もう 10 時になる」は言えるのに、「もう上手になる」が言えないのも同じである。「10 時になる」は「予定していた出来事」が始まったことを意味するが、「上手になる」は「予定していた出来事」ではない。

この吉田の考察を踏まえた上で「もう上手になる」という誤用を考えると、これはやは

¹吉田妙子「副詞“もう”が呼び起こす情意性—中国語話者の“もう”使用に於ける母語干渉—」『日本語教育』101号、1999、p.61-69

り“快～了”を転移させたものだと思われる。“快～了”は“已经～了”とは違って、現在これからあることが起こる状態にあることを意味しているだけで、「もう」のような予定性がなくとも使える。だからこのような誤用が起こるのだ。

「あなたはうれしいでしょう」もかなり違和感がある。日本語では基本的に、感情形容詞を裸の形で使えるのは「あなたの中国語はもうすぐ上手になります。私もうれしいです」のような一人称の場合だけである。特に身内の外の間人間関係には使いにくい。身内の外とは、あまり親密でない関係もしくは敬意が必要な間柄だ。学生が教員に対して「先生、3連休は楽しかったですか」とたずねたり、世界記録を打ち立てたアスリートに対して報道記者が「今の気持ちを聞かせてください。うれしいですか」と質問するのは失礼な印象を与える。これは、身内と他人の区別を明確にしようとする日本人の心理に関係しているようだ。

4. 「私たちは3月5日に始業しています。私たちはこの学期に授業が少なくなります」

「～ている」を現在進行形ではなく過去の時点とともに使用できるのは、「(日記を見ながら)私は去年の×月×日に名古屋へ行っています」とか「赤穂浪人はこの場所で×月×日に切腹している」というように経験・記録を表す場合である。この人は日本語「～ている」のこうした制限を理解しておらず、“我们三月五号开学了”の“了”を「～ている」に置き換えて「私たちは3月5日に始業しています」としてしまったのだと推測できる。

「私たちはこの学期に授業が少なくなります」は結論から言うと、「～なります」と助詞「に」の共起制限に関する誤用である。「私は4月に中学生になります」のような「ある時点を表す語句+に～になる」という形なら問題ない。しかし「この学期に」のようなある一定の幅を持った期間を表す時間の副詞句と、「～になる」を一緒に用いると不自然な日本語になる。この手紙を書いた人がこの場合「に」を用いた理由をさらに明らかにするため、次の例文が中国語としてどの程度自然かを愛知県立大学中国学科教員の張金平先生にたずねた。◎は完全に正しい、○はどちらかという正しい、?はやや不自然との答えであった。

- 我们在这个学期上课时间不多了（この学期に授業時間が少なくなります） …◎
我们到这个学期上课时间不多了（この学期になると授業時間が少なくなります） …?
我们这个学期上课时间不多了（この学期は授業が少なくなります） …◎
我们从这个学期上课时间不多了（この学期から授業が少なくなります） …○

その結果、“我们在这个学期上课时间不多了”は中国語としてまったく問題なく、“不多了”と“在这个学期”は共起し得ると分かった。このことから考えて、この誤用は“在这个学期”を「この学期に」と置き換えた中国語の母語の転移によるものと言える。

5. 「日本では桜花が咲くそうでしょう。とてもきれいだと思います」

「桜花が咲く」という日本語はない。これは「桜の花が咲く」とするべきである。これも、中国語の転移による誤用だ。文化庁²は、中国語母語話者への日本語教育を念頭に約二千字の漢語を集め、中国語との対応関係からそれらを次の4つのカテゴリーに分類している。

- (S) 日中両国語における意味が同じか、またはきわめて近いもの (=same)
雑誌、数学、政府、鉛筆
- (D) 日中両国語における意味が著しく異なるもの (=different)
新聞、汽車、迷惑、約束
- (O) 日中両国語における意味が一部異なっているが、両者の間にずれがあるもの (=overlap)
差別、得意、関心、反対
- (N) 日本語の漢語と同じ漢字語が中国語に存在しないもの (=nothing)
大切、財布、給料、都合

加藤稔人³によると、おおよそ「S> N> D> O」の順で難しくなるという。つまり(S)は知らない語でも正の転移が起こる。(N)は正の転移が起こる場合(「乱暴」など)と起こらない場合(「都合」など)がある。(D)は初級中級では間違っ理解することが多い(「新聞」「汽車」など)。一番難しいのが(O)である。日本語も中国語も漢字を使って表記する言語であるため、中国語話者が日本語の漢語を学習する際に、日本語の漢語を見て中国語の意味で理解してしまいやすい。

この手紙を書いた人は中国語の「桜花」を日本語であらわそうとした際、日本語の(S)カテゴリーの漢語の中に「桜花」があるはずだと決め込んで、「桜花」をそのまま日本語の「桜の花」という意味で使ったのだろう。つまり実際には存在しない(S)カテゴリーの漢語を作ってしまったのである。中国語話者が自分の知らない単語を、勝手に中国語と同形の漢語にして表現してしまうこの現象は、加藤の考察の延長上にあると思う。

「咲くそうでしょう」は伝聞の表現「～そうだ、～そうです」と推測の「う」を一緒に使った誤用である。中国語でも、伝聞の“听说”だけを使って“听说桜花要开了”というならよいが、推測の“吧”も使って“听说桜花要开了吧”と言うことはできないので中国語の転移とは考えにくい。おそらく、この「そう」は「～しそうだ」の中国語“要～了”の転移ではないだろうか。「そう」を伝聞として使用したのではなく、「咲きそうだ」という意味で使ったのかもしれない。「咲きそうでしょう」の連用形「咲き」を使わず「咲くそ

²文化庁 『中国語と対応する漢語』大蔵省印刷局 1978

³加藤稔人「中国語母語話者による日本語の漢語習得—他言語話者との習得過程の違い—」『日本語教育』125号、2005

う」と使ったのではないだろうか。日本語の活用のルールを理解していなかったために生じた誤用と言える。

6. おわりに

本稿で中国人の日本語学習者の誤用例を分析した結果、中国語を母語とする学習者が犯しやすい誤りには次の3つがあることが判明した。

I 過剰般化による負の転移

中国語の規則を日本語に当てはめてしまう、過剰般化による間違いがみられた。「私たちは、この学期に授業が少なくなります」という文脈が、まさにそうである。これを中国語に直訳した「我们在这个学期上课时间不多了」は、中国語としてはまったく問題がない。日本語では、「午前中に断水になります」が不自然であるように、「午前中」「この学期」のような一定の時間の幅をもったもの（＝期間）と「～になります」の形は共起しえない。しかし中国語では自然に共起してしまうため、このような転移が起きたのである。

II コミュニケーション、対人関係の距離感

中国人学習者の誤用例には、人間関係における日中間の考え方の違いが関係していることがある。本稿では、「あなたの中国語はもう上手になります。あなたはうれしいでしょう」という誤用例を挙げた。日本語では、身内でない相手に対して「うれしいでしょう」とか「楽しいでしょう」を使うと、なれなれしいとか失礼な印象を与える。日本語における感情形容詞の用法には、ウチとソトの区別を明確にする、日本人の人間関係上の心理が影響しており、理解しにくいのだろう。

III 中国人特有の漢語の転移

日本語も中国語も、表記に漢字を使用する言語である。そのため中国語を母語とする学習者は、英語やその他の言語を母語とする学習者にはない誤りをする可能性がある。漢語には、日本語・中国語ともに同じ意味をもち、なおかつ表記に同じ漢字を用いる日中同形語が多く存在し、加えて、表記に使う漢字は同形だが日中で意味が違うものや、日本語にしか存在しないものがあるため、中国語話者はミスを犯しやすい。日中同形語ではない単語を、中国語と同形の漢語を用いて表記してしまうのである。本稿に挙げた誤用例では、「桜の花」を日本語で表現しようとして、中国語の「櫻花」をそのまま使ってしまったという現象がそれにあたる。

参考文献

加藤稔人「中国語母語話者による日本語の漢語習得－他言語話者との習得過程の違い－」

- 『日本語教育』125号、2005
- 亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 術語編』第6巻、三省堂、1996
- 曹紅荃・仁科喜久子「中国人学習者の作文誤用例から見る共起表現の習得及び教育への提言—名詞と形容詞及び形容動詞の共起表現について」『日本語教育』130号、2006
- 文化庁『中国語と対応する漢語』大蔵省印刷局 1978
- 水野光晴「誤り error」小池生夫主編『応用言語学辞典』研究社 2003
- 水野光晴「中間言語」小池生夫主編『応用言語学辞典』研究社 2003
- 吉田妙子「副詞“もう”が呼び起こす情意性—中国語話者の“もう”使用に於ける母語干渉—」『日本語教育』101号、1999